

# 「女性が健康な社会を」

## 婦人科医 種部さんが講演

### 市民らNPO「HWP」を設立 富山

女性の健康に関心のある市民や医療関係者がNPO「ハッピーウーマン・プロジェクト(HWP)」を設立した。心と体、社会を一体化して考えることで女性にかかわる問題を見直し、健康で幸せに生きられる社会を目指す。初めての対外的な催しとして富山市内で、本紙とやま面に「女性を診る 社会を見る」を連載中の婦人科医、種部恭子さんの講演会が開かれた。

【富山 種部 恭子】



ハッピーウーマン・プロジェクトの講演会で、女性の健康について話す種部さん 富山市内

女性の健康問題は、社会を抱えている場合、婦人居が高い」と、少女の不調を我慢している女性も少なくない。一方、性教育も不十分で、若年層の

性感症も増加している。こうした条件が重なり、更年期障害など女性ならだれしも経験する症状についても、オープンには語れないのが現状だ。

そこで、2年前から、女性の健康に必要な医療のあり方などを集まって検討してきたのが、HWP誕生のきっかけ。問題点として「健康に影響を及ぼす心や生活の不安を抱える女性が多いが相談できる場がなく、現在の医療ではトータルに診る手だてがない」ことなどが浮かび上がった。

5月にNPOとして認可されたHWPには、40人が会員登録している。女性の健康に関して積極的に啓発し、女性特有の病気や生活環境に応じた健康問題の知識を

提供していく。毎月一回、ワークショップや勉強会、青少年向けの性と命の教育などをする予定。

初の講演会で、種部さんは「目からウロコの女性健康講座」と題して話した。「人ではなく臓器だけを診察するのが現状」と、現在の婦人科医療の問題点を指摘。ダイエット、摂食障害不妊、DV(ドメスティックバイオレンス)、うつ、セックスレスなど、女性の健康と社会環境とのかわりを分かりやすく説明し、「女性の不調の多くは病気ではない。社会の変革が必要」と訴えた。そして「女性が健康になることが最大の少子化対策。女性専門の医療や、ライフスタイルと年齢を考えた女性検診などが重要だ」と話した。

HWP理事長の小林涼子さんは「女性が前向きに楽しく生きるために心、体、社会に興味を持つてもらい、知識を広げられるような活動をしていきたい」と話している。問い合わせは、小林さん(060・2803008・1341)へ。